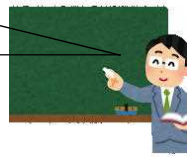


## <授業づくりのポイント2-2>

# 子どもの思考の流れを想定した構造的な板書計画

黒板は、子どもたちが学び合ったことを表現する場です。子どもの思考の流れを想定した板書計画により学習内容を構造化し、分かりやすい授業を目指しましょう。

分かりやすい板書は分かりやすい授業につながります。



### ◇ 板書計画の意義は？

- 学習内容を構造的に表すことにより、要点や関連等が明確になる。
- 子どもの思考の流れにそって板書内容を考えることにより、授業展開が明確になる。
- 子どもたちの考えを想定し、分類や整理等をしておくことで子どもの思考を生かして深めることができる。

⇒ 板書計画を立てることにより、発問や活動が具体的に見えてきます。

### ◇ 構造的な板書とは？

- 子どもの思考の流れにそった板書
  - ・ 学習課題→見通し→子どもの考え→話合いの内容→まとめ等、一連の流れが分かるようにする。
- 構造化する内容
  - ・ 子どもの気付きや考え、賛成・反対などの立場
  - ・ 学習内容の比較、分類、整理、関連、統合等
  - ・ 心情等の変化、変容
- 留意したい点
  - ・ 子どもがノートをとる時に、迷わずに写したりまとめたりできるような構造的な板書を心がける。

⇒ 賛成・反対を線囲みしたり、線や矢印でつないだりすると、立場を明確に示すことができます。分類、関連、統合したことを表に書くと、情報を整理することができます。心情や行動の様子を曲線や矢印で示したり、書き出す位置（上下、左右など）を変えたりすると、変化や変容をつかむことができます。

### ◇ 構造的な板書にする効果的な方法は？

- 文字のサイズ、書く方向、矢印、線囲み、色チョークを活用する。
  - ・ 上下・左右の空間の利用の仕方を工夫する。
  - ・ 短い語句、図、表、写真等を効果的に活用する。
  - ・ 心情曲線、イメージマップ、マスキング等、子どもの思考を促す方法を工夫する。

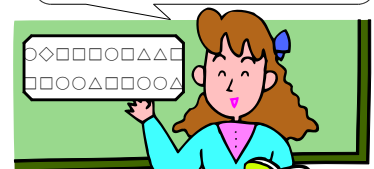
⇒

### ◇ ワークシートの落とし穴

授業で学習したことや板書を記録する時、ノートを使用するのが基本ですが、学習内容をまとめやすくしたり、時間を短縮したりするためにワークシートを使用する場合があります。ワークシートは、活用の仕方によっては効果的な場合がありますが、次のような「落とし穴」があるので注意しましょう。

- **授業が始まって、すぐワークシートを渡していませんか？**  
→ まずは、学習意欲を高める導入が最優先です。必然性のある課題設定をした上で、解決するための手段として配付しましょう。
- **最初から指示や発問が印刷されていませんか？**  
→ 授業の内容や流れが先々まで分かってしまうために、子どもの主体的な学習をさまたげることがあります。  
→ 子どもが、どこに何を書くか、内容まで明確になってしまうと、多様な考えを表出しなくなったり、話合いが深まらなくなったりする場合があります。

きょう学習したことを黒板で振り返るよ。



Check!  
② 黒板はきれいですか  
・ チョークの粉がたまっていますか  
・ 授業に必要なものを貼っていませんか

# 子どもの思考の流れを想定した構造的な板書

## ◇板書構成のポイント

学習課題、予想、調べたり考えたりしたこと、結果、まとめまでの一連の学習を、子どもの思考の流れを想定して構造化します。

### 一単位時間で1枚の板書を！

本時の授業を1枚の板書で完結する書き方をすると、一目で授業全体を振り返ることができます。

＜中学校社会「江戸幕府の成立と鎖国」を例に＞

**A 学習課題** 江戸幕府は、どのように全国を支配したのか？

**B 予想**  
・大名の配置の工夫 ・参勤交代による出費 ・武家諸法度による支配

**C** 1600 関ヶ原の戦い  
1603 家康が征夷大将軍に

**江戸幕府**

- ・幕領400万石
- ・重要な年の直接支配
- ・鉾山支配
- ・貨幣鑄造権

幕府は重要なところを直接支配して、大きな力をもっている。大名や朝廷には、様々なきまりやしきみをつくって力をもたせないようにしている！

**まとめ** 江戸幕府は、莫大な領地、都市、鉾山を支配し、大きな力をもった。大名、朝廷、寺社を法律やしきみを整備して支配した。

**大名支配**

武家諸法度…改易、国替え  
参勤交代…多くの出費

大名配置…幕藩体制

親藩 譜代大名…幕府の役職  
↓ 見張り 重要な所  
外様大名…江戸から遠い所

**朝廷・寺社支配**

京都所司代→朝廷監視  
寺社奉行→寺社の取りしまり  
禁中並公家諸法度→天皇、公家の行動制限

## 子どもの思考の流れを想定した板書計画

## 予想される子どもの考えや発言

**A** 資料や既習事項などから、子ども自身に問いをもたせ、学習課題につなげます。めあてとまとめの整合性を図りましょう。

学習課題を書かずに、学習内容だけを書いているということはないでしょうか。

どうして江戸幕府は260年も続いたのかな？どんな風にして大名を支配したのかな？

**B** 学習課題に対する自分の考えを予想させ、問題解決的な学習に適した予想を書き出します。結果の予想だけではなく、解決の見通しをもたせる場合もあります。

大名配置を工夫したり、参勤交代をさせて出費が多くなるようにしたりしたと思います。

**C** 子どもが発表したことを統合させて線囲みしたり、関連付けるために矢印でつないだりしながら、課題に関係する内容を構造化します。思考の高まりや変化を強調するために、子どもの考えを吹き出しにして表すことも効果的です。

外様大名には江戸から遠いところを治めさせ、参勤交代での出費が多くなるようにしています。

内容を視覚的に捉えさせることは大切ですが、事前に準備したカードでいっぱい板書にはなっていないでしょうか。子どものそのときの考えや発言を板書に生かしましょう。

◎ 板書計画を考えると、指示や発問、つなぐ働きかけや板書のタイミング等まではっきりさせることができます。

